



児童扶養手当現況届の提出はお早めに

児童扶養手当を受給している方は、引き続き手当を受けることができるかを判断する「現況届」を提出する必要があります。現在手当を受けられている方には、8月上旬に「現況届」を送付しますので、期限までに提出してください。なお、所得制限により手当を受けられていない方も提出が必要です。

▼注意 現況届の提出がない場合は手当を継続して受給できなくなるほか、2年で資格を喪失し、さかのぼって受給できなくなります。

▼期限 8月30日（金）

▼問合せ 保健福祉課福祉係（ゆとり内・☎23-3019）

子育て支援センターからのお知らせ

子育てに関する講座や講習会、育児相談などを行っています。申込みが必要な場合がありますので、下記QRコードをご確認いただくか、問合せください。

▼対象 0歳から就学前の子どもと保護者・妊娠中の方

▼時間 平日9時～14時

あそびのひろば（当別地区）

▼内容 フラワーアレンジメント、ベビーマッサージ、絵本・わらべうた

▼問合せ 子ども未来課子育てサポート係（ゆとり内・☎25-2658）



町HP

おとぎキッズ（太美地区）

▼内容 ベビーマッサージ、子どものヘアカット、ヨガ、絵本の読み聞かせ、おもちゃのひろば ▼問合せ 認定こども園おとぎのくに（☎26-2353）



おとぎのくにHP

当別町子ども医療費助成の申請はお済みですか

当別町子ども医療費助成は、8月診療分から新たに中学1年生から高校3年生（平成18年4月2日から平成24年4月1日生まれ）までの通院医療費が対象となり、保護者の所得制限が撤廃されました。

中学生・高校生、所得制限によって受給者証をお持ちでない方は申請が必要となりますので、福祉係で手続きをお願いします。

なお、受給者証を持たずに受診した場合でも、申請することで医療費の還付を受けることができます。詳しくは、福祉係までご連絡ください。

▼問合せ 保健福祉課福祉係（ゆとり内・☎23-3019）



図書館からのお知らせ



問合せ 当別町図書館（☎23-0573）
当別町図書館西当別分館（☎26-3300）

新着図書

当別町図書館【一般書 計36冊】

- ・「夜逃げ屋日記」 宮野 シンイチ
- ・「星に願いを」 鈴木 るりか

当別町図書館西当別分館【児童書 計24冊】

- ・「ほっかいどうはじめての虫さがし」 堀 繁久
- ・「そらうみ」 はぎの たえこ

広 告

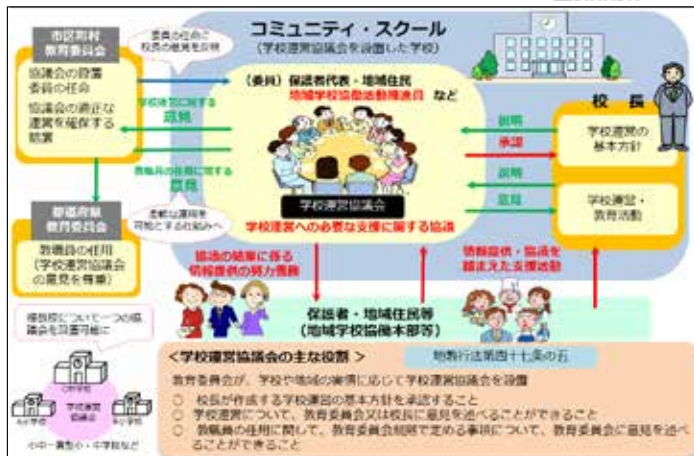
学校と家庭・地域とで創る新たな学びの未来

子どもたちの「生きる力」は、学校だけで育まれるものではなく、多様な人々との関わりや様々な経験を重ねていく中で育まれていきます。さらに、子どもたちが地域社会とのつながりの中で、絆を育み、豊かさ・たくましさを身につけていきます。つまり、子どもたちの確かな育ちを保障するには、信頼できる大人との多くの関わりが不可欠です。子どもたちが豊かで健やかな成長を遂げるために、また、現在の学校や子どもたちが抱える課題や、家庭・地域社会が抱える課題等を解決していくためにも、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ、家庭・地域と連携・協働による教育の実現が必要です。

この当別町においても、各学校では「開かれた学校」から更に一歩踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域の方々と共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」への転換に向けて取り組みを進めています。

コミュニティスクールの仕組み

出典 <https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/cs-torikumi/cs.html>



さて、皆さんは、コミュニティスクール（学校運営協議会制度）をご存じですか。コミュニティスクールとは、学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子どもたちの成長を支え、共に学校づくりを進めていくことをねらいに、地域住民や保護者が一定の権限と責任をもって学

校運営に参画する仕組みです。教育委員会から任命された委員が、学校経営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりします。当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取り組みが充実するとともに、関わる全ての人たちに様々な魅力が広がっていきます。当別町では、平成29年に当別地区、西当別地区それぞれにコミュニティスクールを設置し、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して部会を設けて協議を進めるなど、地域と学校による連携・協働の取り組みを進めて7年が経ちました。

今回、7年目を一つの節目として、6月10日に北海道教育大学教職大学院旭川キャンパス特任教授の北村善春氏をお招きし、「当別町コミュニティスクール研修会」を開催しました。研修会への参加は、広報を活用して町民の方々にも広く周知し、60名近くの方々が集まりました。



「私たちがたどり着けるコミュニティスクールの姿はどのようなものか」と題した講演では、土佐山学舎（高知県）、白川郷学園（岐阜県）の実践例から地域と協働する学びを実現させる共通点を見出し、この当別町での取り組みに立ち返って考え合いました。

今後、コミュニティスクールが学校を支援するだけの関わりを越え、地域の子どもの実態を捉え、どのように子どもたちを育てるべきかを学校と地域住民で共に考えて行動する、子どもを中心にした学びの未来を深めていきたいと思っています。ぜひ、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

広告

広告